



小谷中学校だより



自分たちのことは自分たちで決める大切さ

制服リボンの選択制を検討中！

令和5年7月6日

「これ、かわいいよ」

「こっちの方が良いんじゃない？」

朝、昇降口に展示してある制服リボンの見本に、生徒たちのにぎやかな声が広がります。女子も男子もいろいろなリボン・ネクタイを手に取り、「自分たちで制服のリボンについて検討したい」という思いから始まった「リボン・ネクタイ試着週間」の開始日の様子です。



昇降口にて

「始まりは生徒総会の意見」



生徒総会（4/27）での意見交換の様子

提案のきっかけ

4月生徒総会において、「学校生活をよりよくするための提案はありませんか」という投げかけに対し制服リボンを変更したいという意見が寄せられたから。

「提案のきっかけ」の説明

そもそもの始まりは、4月に行われた生徒総会でした。学校をよりよくしていく提案を集めていく中で「制服のリボンを変更したい」という意見が出されました。それを受けて、生徒会 議長の江蔵さん、副議長 伊東さんを中心に代議員で検討を始めました。そして、なんとか実

現させようと知恵を絞り、実現させるために必要な手順や方法を考えました。その結果、以下のような手順でプロジェクトを進めてくことになりました。



職員会での提案（6/19）

「思いを形にしていくプロセス」進行中

- ①校長先生への提案・説明
- ②職員会への提案・説明
- ③保護者への提案・説明
- ④全校生徒への提案・説明
- ⑤生徒が様々なリボン・ネクタイを「体験」する経験

どんなプロジェクトであっても、それに関わる全員が納得したうえで

代議員会での検討

メリット

- ・結ばなくても良い
- ・個性が出る
- ・自分で選べて楽しい
- ・モチベーションが上がる
- ・学校に行くのが楽しくなる

デメリット

- ・お金がかかる
- ・男子もいいと思う
(なにか変えたいと思う)
- ・統一感がない

代議員会での検討結果の説明

進めないと難しいのが、現実の社会です。しかも今回は、家庭での経済的負担や伝統といったものにも関わるので、全員の意見を聞くことが重要と考えたようです。説明用のプレゼン資料や



参観日にて保護者向けの説明（6/22）

原稿を作り、校長先生への説明を皮切りに、一つずつ、丁寧に説明と提案をしていきました。そして、全校集会での提案を終え、今、「リボン・ネクタイ試着期間」ということで、希望者が好きなリボン・ネクタイを試着し、学校生活を過ごす、ということを行っています。



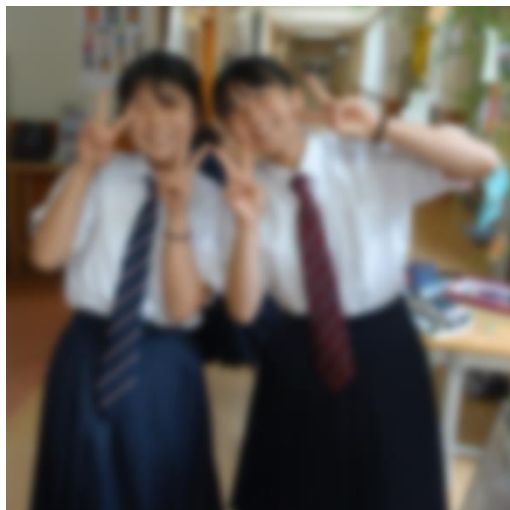
全校集会にて提案(6/29)

これからの展望と、ここまでの振り返り

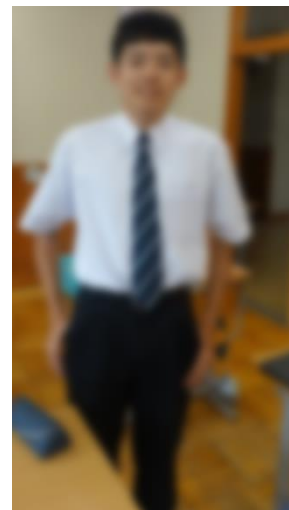
この後ですが、試着期間終了後、最終的な投票などを行い、実際の動きを決めるそうです。

今はまだ、プロジェクトの途中であり、最終的な結論は出ていませんが、活動を通して生徒たちが生き生きと活動してくれている姿が印象的でした。代議員長にここまでの感想を聞くと、「大人の方から『新鮮だね』『良い試みだね』という応援メッセージをもらいました。」「みんなも楽しんでもらえているようで良かったです」。そして「歴史というか、大きなものを変えていることを実感しています」と笑顔で答えてくれました。

この活動を通して、制服のリボンが変化するかも…ということも重要ですが、それ以上に生徒が自分たちで考え・動いた経験、大勢の人の理解を取りながら、丁寧にかつ確実に進めくれた経験が、これからの人生にどこかでプラスに作用してくれるといいな、と考えています。



いろいろなネクタイ・リボンを試着中！



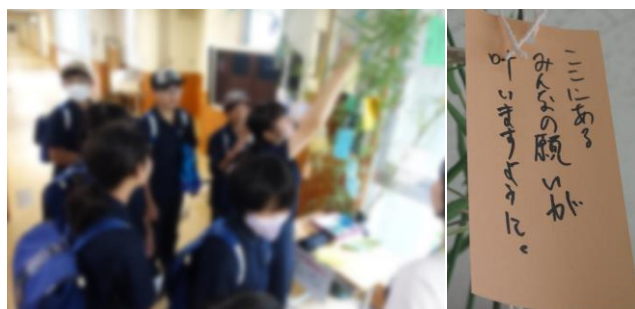
(男子生徒にも好評です)

「制服」をめぐる社会情勢の変化

生徒たちが考え、動いてくれている制服のリボン・ネクタイプロジェクトですが、実はこのような「制服の検討」というのは、全国的な動きでもあります。“ジェンダー”(性)の尊重、経済的格差(家庭負担の軽重)の問題、現状に合わない校則など、多様な価値観を大切にする社会の変化に伴って、学校にも変化を求める動きの一つと思われませんが、その結果、「男子も女子も共通の制服を導入」、「制服の変更を生徒主体で実施」、「制服の指定を原則廃止」などという学校も出てきました。

このように「制服は自由になりたい」「安いものを自由に選びたい」など、変化を望む声が出ている反面、「伝統の制服を変えたくない」「私服にすると、服を買わないといけなくて大変」「統一感がないといやだ」という、変化を望まない声も聞かれるようになりました。

大切なことは、社会の変化に伴って、制服の在り方について様々な意見が出ているという事実をしっかり受け止め、どれもが大切な意見であると尊重すること。しかし、できるだけ多くの方々の意見を大切にしつつも、一番は子どもたちの気持ちや考えを最優先にすること…と考えています。生徒たちの声から動き出した今回のプロジェクト。みなさまも温かく見守っていただければありがたいです。



今年も昇降口に七夕の笹を飾りました。短冊に思い思いの願いを書いてくれています。ステキな願い事がたくさん書かれています。

小谷中学校
ホームページも
ご覧ください！



文責：教頭